

HP Operations Orchestration 10.x

Windows および Linux オペレーティングシステム

OO Cloud コンテンツパックバージョン 1.3.0

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2014 年 11 月
ソフトウェアリリース日: 2014 年 11 月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™ は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインタフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

謝辞

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの [**New users - please register**] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/hpsoftwaresupport>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧ください。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

ご注意	2
保証	2
権利の制限	2
著作権について	2
商標について	2
謝辞	2
ドキュメントの更新情報	3
サポート	4
概要	6
コンテンツパックの統合	6
新機能	8
機能拡張	9
OO Cloud コンテンツパックのデプロイ	12
修正された不具合	13
既知の問題	14

概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration Cloud コンテンツパック 1.3.0 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれています。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- fr - フランス語
- de - ドイツ語
- ja - 日本語
- es - スペイン語
- zh_CN - 簡体字中国語

OO Cloud Content Pack 1.3.0 は累積的なコンテンツパックです。

コンテンツパックの統合

次の表に、Cloud コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
Amazon EC2	2009-04-04、2011-12-15、2014-06-15
Amazon IAM	2010-05-08
Amazon 負荷分散	2011/11/25、2012/06/01
Amazon S3	2006/03/01
Amazon セキュリティトークンサービス	2011/06/15
Amazon VPC	2011/12/15、2014/06/15

統合名	バージョン
OpenStack	Diablo 2011.3 Essex 2012.1 Grizzly 2013.1 Havana 2013.2 Helion Public Cloud 13.5 Helion Openstack 1.0 IceHouse 2014.1 Juno 2014.2
VMware vCloud	1.0、1.5、5.1、5.1.1、5.5

新機能

Amazon Compute EC2-VPC

- Amazon Compute EC2-VPC のサポートが追加されました。

新しく追加された入力とオペレーションは、次のとおりです。

- 「**Describe Volume Status**」オペレーションが「/Cloud/Library/Integrations/Amazon/EC2/Elastic Block Store/Volumes/」の下に追加されました。このオペレーションを使用すると、自分の Amazon アカウントに関連付けられている Amazon EBS ボリュームのステータスを表示し、ボリュームのパフォーマンスを損なう可能性があるイベントと、そのイベントに対処するためのアクションを強調表示できます。

このオペレーションは、Amazon EC2 Query API で提供される **DescribeVolumeStatus** API に基づいています。

- 「**Describe Volume Attribute**」オペレーションが「/Cloud/Library/Integrations/Amazon/EC2/Elastic Block Store/Volumes/」フォルダーの下に追加されました。

このオペレーションを使用すると、自分の Amazon アカウントに関連付けられている Amazon EBS ボリュームの属性 (productCodes のリスト、**autoEnableIO** 機能のステータスなど) を表示できます。

このオペレーションは、Amazon EC2 Query API で提供される **DescribeVolumeAttribute** API に基づいています。

- 「**Modify Volume Attribute**」オペレーションが「/Cloud/Library/Integrations/Amazon/EC2/Elastic Block Store/Volumes/」フォルダーの下に追加されました。

このオペレーションを使用すると、Amazon EBS ボリュームの Auto-Enabled IO 属性を変更できます。

このオペレーションは、Amazon EC2 Query API で提供される **ModifyVolumeAttribute** API に基づいています。

- 「**Enable Volume IO**」オペレーションが「/Cloud/Library/Integrations/Amazon/EC2/Elastic Block Store/Volumes/」フォルダーの下に追加されました。

このオペレーションは、ボリュームのデータに整合性がない可能性があるために I/O 操作が無効になっていたボリュームについて、I/O 操作を有効にします。

このオペレーションは、Amazon EC2 Query API で提供される **EnableVolumeIO** API に基づいています。

Amazon のオペレーションで次の機能強化が行われました。

- **Create Load Balancer:** このオペレーションは、インターネット接続と内部の2つのタイプのロードバランサーをサポートします。現在は、(デフォルトで) インターネット接続タイプが使用されています。変更点は次のとおりです。

- **internalScheme** 入力 が追加され、**内部** タイプのロード バランサーを追加できるようになりました。
- **subnets** 入力 が追加され、VPC のサブネットを指定できるようになりました。
- **securityGroups** 入力 が追加され、VPC のセキュリティグループを指定できるようになりました。

OpenStack 統合

次の新しいフローが追加されました。

- 新しいフロー「**OpenStack REST Patch**」が「/Cloud/Library/Integrations/OpenStack/」フォルダーの下に追加されました。

このフローは、新しい OpenStack REST API PATCH メソッドをサポートするために、「**HTTP Client Patch**」オペレーションを使用します。

Identity Service 統合

- **Identity Service/役割機能**のためのフローが、「Openstack/Identity Service/Roles」フォルダーに追加されました。
- **Identity Service/グループ機能**のためのフローが、「Openstack/Identity Service/Groups」フォルダーに追加されました。このフォルダーには、グループのリスト処理、グループ情報の表示、グループの作成と削除を行うフローが含まれています。また、グループ内でユーザーを操作するフローも含まれています。
- **Identity Service/プロジェクトおよびドメイン機能**のためのフローが、「Openstack/Identity Service/Projects」および「**Openstack/Identity Service/Domains**」フォルダーに追加されました。このフォルダーには、プロジェクトとドメインについて、そのリスト処理、情報の表示、および作成と削除を行うフローが含まれています。また、プロジェクトおよびドメイン内でユーザー、グループ、および役割を操作するフローも含まれています。
- **Identity Service/ユーザー機能**のためのフローが、「Openstack/Identity Service/Users」フォルダーに追加されました。

機能拡張

Amazon 統合

- **Create Volume:** 最新バージョンの EC2 API に移行したため、Amazon EBS ボリュームを新規に作成する「**Create Volume**」オペレーションが変更されました。

このオペレーションで、Magnetic、General Purpose (SSD)、Provisioned IOPS (SSD) ボリュームタイプを作成できるようになりました。

このオペレーションに対して、3つの入力 が新規に追加されました。

- **volumeType**: 新しいボリュームのタイプを指定します。
- **iops**: ボリュームをプロビジョニングするための 1 秒あたりの I/O 操作数を指定します。
- **encrypted**: 新しいボリュームを暗号化するかどうか指定します。
- Amazon AWS API が、次のように最新バージョンに更新されました。
 - 「EC2」および「VPC」オペレーションは、06/15/2014 API バージョンを使用します。
 - 「Load Balancing」オペレーションは、06/01/2012 API バージョンを使用します。
- 「Describe DHCP Options」オペレーションにフィルターのサポートが追加されました。DHCP オプションの特定のセットのみの情報を応答に含めるように、フィルターを指定できるようになりました。
- 「Describe Security Groups」オペレーションに、新しいフィルター **ip-permission.group-id**、**group-id**、**tag-key**、**tag-value**、**vpc-id** が追加されました。
- 最新バージョンの EC2 API に移行したため、次の Elastic IP オペレーションが更新されました。
 - **Associate Elastic IP**: VPC インスタンスのパブリック IP の関連付けをサポートするために更新されました。 **allocationId**、**networkInterfaceId**、**privateIpAddress**、**allowReassociation** の各 API パラメーター用の入力が追加されています。

このオペレーションは、VPC インスタンスが使用されていた場合に、**associationId** を返すようになりました。
 - **Allocate New Elastic IP**: VPC インスタンスの Elastic IP の割り当てをサポートするために更新されました。API パラメーター **domain** 用の入力が追加されています。

このオペレーションは、使用ドメインが VPC の場合に、新しく割り当てられた Elastic IP アドレスの **allocationId** を返すようになりました。
 - **Disassociate Elastic IP**: VPC インスタンスのパブリック IP の関連付けを解除できるようにするために更新されました。API パラメーター **associationId** 用の入力が追加されています。
 - **Release Elastic IP**: VPC インスタンスのパブリック IP を解放できるようにするために更新されました。API パラメーター **allocationId** 用の入力が追加されています。
- Amazon のオペレーションでは、次の機能強化も行われています。
 - **Create Load Balancer**: このオペレーションは、インターネット接続と内部の 2 つのタイプの LB をサポートします。現在は、(デフォルトで) インターネット接続タイプが使用されています。変更点は次のとおりです。
 - - "internalScheme" 入力が追加され、「内部」タイプの LB を追加できるようになりました。
 - - "subnets" 入力が追加され、VPC のサブネットを指定できるようになりました。
 - - "securityGroups" 入力が追加され、VPC のセキュリティグループを指定できるようになりました。

OpenStack 統合

- 「OpenStack/Compute/Security Groups」のフローが最新の OpenStack Juno API を使用するように更新され、「OpenStack/Networking/Security Groups」に配置されました。OpenStack Juno バージョンでは、セキュリティグループ API は Neutron (Network) エンドポイントを使用します。
- 「OpenStack/Compute/Block Storage」のフローが最新の OpenStack ブロックストレージ API を使用するように更新され、「OpenStack/Block Storage/Snapshots」および「OpenStack/Block Storage/Volumes」フォルダーに配置されました。

OO Cloud コンテンツパックのデプロイ

OO プラットフォームバージョン 10.00 以降が、Cloud コンテンツパック 1.3.0 をサポートしています。ただし、Cloud コンテンツパック 1.3.0 は、既存の OO プラットフォームバージョン 10.10 またはそれ以降にデプロイすることを推奨します。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

注: コンテンツパックのアンインストール/ロールバックの方法については、『HP OO Central ユーザーガイド』の「前回のデプロイメントへのロールバック」を参照してください。

修正された不具合

修正された不具合の参照番号は、ALM グローバルID 番号 (QCCR) です。

修正された不具合の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C22905	[Amazon] Amazon EC2 統合 の下の「Create Snapshot」オペレーションで NullPointerException が発生する	オペレーション「 Create User 」および「 Create Snapshot 」で、プロキシのホストおよびポートの入力定義が必要なくなりました。
QCCR8C25739	[openstack]「OpenStack REST Put」フローに、(フローを動作させるために必要な) ContentType ヘッダーがない	「OpenStack REST Put」フローに新しく contentType 入力 が追加されました。
QCCR8C25752	Amazon/IAM 統合 の「Create User」オペレーションが、プロキシなしで動作しない	オペレーション「 Create User 」および「 Create Snapshot 」で、プロキシのホストおよびポートの入力定義が必要なくなりました。

既知の問題

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

「Integrations/VMware/VMware Cloud/Organizations/Get Organization Tasks」で、vCloud ホストが到達不能の場合にプロキシサーバーが無視される

「/Integrations/VMware/VMware Cloud/Organizations/Get Organization Tasks」の下の「**Get Organization Tasks**」オペレーションを、直接アクセス可能でない vCloud ホストに対して使用する場合に、vCloud API が検出されないと、**proxyHost** および **proxyPort** 設定が無視されます。

QCCR8C22617

I18N: vCloud: 名前に日本語文字を含むカタログを作成できない

日本語文字のカタログ名でフローを作成した場合、フローは失敗します。

